

森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業（執行委任：農林水産部治山林道課）

福本浩士

2015年4月21日に志摩市大王町波切、同月28日に鈴鹿市住吉町字中大谷の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、林業研究所構内の網室に搬入した。採取林分の概況は表1のとおりである。マツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため、割材調査を成虫が脱出するまで、成虫の脱出消長調査を7月下旬まで実施した。その結果は表2のとおりである。

また、カシノナガキクイムシによる森林被害について、農林水産部治山林道課、各農林（水産）事務所と協力して被害分布調査を実施した。

表-1. 採取林分の概況

場 所	標高 (m)	方位	樹種	林齢 (年生)	成立本数 (本/ha)
鈴鹿市住吉町字中大谷	50		アカマツ	45	1100
志摩市大王町波切	20		アカマツ	30	1250

表-2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調査地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
鈴鹿市	5/12		5/25	6/1	6/8	6/22	7/7
志摩市	5/7	5/12	5/21	6/1	6/2	6/15	7/10

脱出成虫数 鈴鹿市 35 頭、志摩市：184 頭